

Ⅲ. 事業計画

(2021-2022年度)



SERVE TO CHANGE LIVES

会員増強委員会



委員長(理事) 菅 富誉樹

要田会長は「もっと行動し・もっと成長する」という方針を、ロータリアンとしての活動方針だけでなく、会員増強のためにという目的をもって掲げられました。コロナ禍の中で、生活・活動様式が大きく様変わりしている中で、非常にチャレンジングな方針ですが、わたくしたちはその中で、何が出来るか、ロータリー活動とは何なのかを、今一度問い直す年度にすべきなのだと思います。共に奉仕の理念を共有する仲間を一人でも増やして行くためには、私たちがどのようなクラブなのかを発信し続けていくことが必要なのだという会長のお考えは、皆で共有して本年度の活動に取り組んでいかなければなりません。各委員会の活動と協力して、会員皆様のお力を集結して、会員増強、退会の防止、ロータリー情報の提供に取り組んでいきたいと考えます。幸いにして、会員増強、ロータリー情報は非常に心強いメンバーに恵まれておりますが、やはり目標達成のためには、会員皆様のご協力が不可欠です。何卒、御指導、御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



● 会員増強・職業分類担当

〈方 針〉



リーダー
上原 亮



副リーダー
尾立 道泰

【リーダー】	上原 亮	
【副リーダー】	尾立 道泰	
【委員】	山下 泉	伊藤 正樹
	永島健太郎	久行 康夫
	井原 倫子	角田由貴子

1. 会員数100名を維持する。

〈計 画〉

1. 会員数100名の維持を目指すため、RI会長賞達成項目のうち、会員増強に関わる以下の3項目につき2項目以上の達成を目指します。
 - 1) 会員数純増2名
 - 2) 女性会員数純増2名
 - 3) 40歳未満会員純増2名
2. 会員数の増強を増進すると同時に、職業分類を整理し、未入会の職業分類への会員増強を強化し、職業分類においてもバランスの取れた構成になるよう取り組みます。
3. 年間複数回、委員会報告のなかで年度中の会員増強の進捗を確認し、年度末に向け目標達成を目指します。
4. ロータリー情報担当と協力し、コロナ禍で昨年なかなか交流できなかった新人会員との交流を増やし退会防止に努めます。
5. ロータリー情報担当と共同で、入会歴の長い会員の方から当クラブに関するお話を聞く会を年度中に複数回開催します。その際、親睦担当とも連携し、懇親会も同時に開催し会員同士の懇親を深め退会防止に努めます。

〈予 算〉 300,000円

● ロータリー情報担当



リーダー
大井 克元



副リーダー
佐々木 誠

【リーダー】 大井 克元
【副リーダー】 佐々木 誠
【委員】 胡 定晃

〈方針〉

- ・新会員にロータリークラブの特典と責務に関する情報を提供する。
- ・会長方針の「もっと行動し・もっと成長する」を受けロータリー情報も能動的な事業を行う。具体的にはコロナ下に於て退会防止及び新規入会促進の為、会員増強・職業分類担当、親睦担当と連携し、全会員（特に入会3年未満の会員）に対しロータリークラブの歴史、目的、活動と当クラブに関する種々の情報と親睦を提供する場を設ける。これによって会員のクラブへの親和性を高め会員増強・職業分類担当の退会防止と新入会員勧誘の取り組みをロータリー情報担当としてサポートしていく。

〈計画〉

- ・新会員の入会説明を例会前11時30分より行う。
- ・会員増強・職業分類担当と共同で入会歴の長い会員の方から当クラブに関するお話を聞く会を年度中に複数回開催。
 - 会員の皆様（特に入会3年未満の会員）対し当クラブの歴史や過去の逸話等を紹介して頂き会員のクラブへの親和性及び会員増強の機運を高める機会を提供。
 - これにより退会防止と会員増強につながるロータリー情報担当の事業とする。
 - 開催及び会場は新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じ適宜決定し、親睦担当と連携して懇親会も同時に開催し会員間の親睦を深める場とする。
- ・週報などでロータリーに関する情報を提供する。
- ・入会3年未満の会員については、各種会合に積極的に参加出来るよう情報提供する。

〈予算〉 200,000円

クラブ管理運営委員会



委員長(理事) 岸 本 秀 樹

クラブ管理運営委員会は、クラブの効率的な運営のため例会への出席・例会のプログラム・会場の設営や監督・会員および家族の親睦に関するなどを担当します。出席担当・若宮リーダー、プログラム担当・河野リーダー、親睦担当・赤川リーダーにお願いをし、要田会長方針「もっと行動し、もっと成長する」が実現できるように行っていきます。会員のご参加・ご協力をお願い致します。



● 出席担当

〈方 針〉



リーダー
若宮奈美江



副リーダー
林 亮介

【リーダー】	若宮奈美江
【副リーダー】	林 亮介
【委 員】	柄 博治 岩田 久夫
	岩垂 鈴香

世界的コロナ禍の中で、ソーシャルディスタンスが推奨されておりますが、今私達が例え小さな事でも社会奉仕を出来ているか

ロータリーの理念を仲間と共有できているのかを確認するためにも感染状況を踏まえながら、なるべく沢山の方が安心して参加して頂ける様に最善を尽くします。

〈計 画〉

1. 他の委員会と連携を図り、出席しやすい環境をつくる。
2. 例会時に出席報告をし、例会出席への関心を図る。
3. クラブ会報に出席報告を記載する。
4. 連続出席者の報告と記念品の贈呈を行い、その労を讃える。
5. ホームクラブの例会に出席出来ない時は、他クラブへのメイクアップの参加を勧める。

〈予 算〉 450,000円

● プログラム担当



リーダー
河野 洋平



副リーダー
山中 庸詳

【リーダー】	河野 洋平
【副リーダー】	山中 庸詳
【委員】	岡本 幸士 河野 宏明

〈方針〉

要田会長の方針である「もっと行動し・もっと成長する」を実現するため、楽しくて学びの多い魅力ある例会の開催を企画し、クラブの活性化を推進する。

〈計画〉

- 1 ロータリー月間のテーマに因んだプログラムを実施する。
- 2 新入会員に自己紹介等の卓話を依頼する。
- 3 会員、会員OB及び各界で活躍されている方に、社会貢献活動、会員相互の研鑽に役立つ活動及び特徴ある活動の卓話を依頼する。
- 4 プログラム時間をフリートーキングとし、会員相互の交流の場として企画する。
- 5 コロナ禍のため生の卓話が困難である場合、事前に卓話を録画する方法又はズームの活用により、生講義以外の卓話の開催を企画・検討する。
- 6 年度の後半において、新しい活動又は更なる活動をしたことにより、新しい成長又は更なる成長があったという会員に、その内容について卓話を依頼・企画する。

〈予算〉 400,000円

● 親睦担当



リーダー
赤川 浩二



副リーダー
大下 達士

【リーダー】	赤川 浩二		
【副リーダー】	大下 達士		
【委員】			
武士末 修	行武 治子	田上 克彦	
品川 晃二	平川 勝洋	高島 哲也	
尾木 朗	永島健太郎	若宮奈美江	
佐々木 聡	沖宗 正明	久行 康夫	
池田 勝彦	吉村 康宏	狩野 義仁	
國司 晃	東影 正博	檜垣 純一	
板本 敏行			

〈方針〉

今年度、クラブの活動方針「もっと行動し・もっと成長する」

を指針とし、会員間の更なる親睦を深めます。

コロナ禍となり交流自体が憚れる昨今、ロータリー活動においても新たな相互理解を深める仕掛けを意識し、努めて参ります。

〈計画〉

1. 例会受付

ビジター歓迎

出席カード捺印

ビジター紹介

2. 親睦行事

3RC合同例会・懇親会 (ホスト : 広島城南RC)

新会員歓迎会 (夜間例会 : 2021年9月27日)

支店長会員を囲む会 (松茸の陣 : 2021年10月25日)

会員家族同士の交流企画 (夜間例会 : 2021年11月15日)

クリスマス家族例会 (夜間例会 : 2021年12月24日)

支店長会員を囲む会 (河豚の陣 : 2022年2月14日)

カーブ観戦 (家族会 : 2022年4月～6月)

最終例会 (夜間例会 : 2022年6月27日)

3. 姉妹、友好クラブ交流会

4. 記念品贈呈

5. 同好会活動への協力

6. クラブ内慶弔への支援

7. ロータリー情報担当、会員増強・職業分類担当とのコラボ企画実施 ※「当クラブの歴史や過去の逸話等の紹介」を複数回実施予定であり、実施に伴う歓迎・懇親会開催。

〈予算〉 5,500,000円

広報・記録委員会



委員長(理事) 山 仲 巖

今年度のRI会長テーマは『奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために』であり、地区ガバナーの信条は『みんなのためになるかどうか。未来のためになるかどうか。』であり、要田クラブ会長の方針は『もっと行動し・もっと成長する』となっています。

もっと世の中や未来の為にもっと行動したことを、社会的情報発信をし、それによる公共イメージ向上は当委員会の責務であると考えます。

もっと成長するためにはロータリー活動の理念や歴史世界に広がる活動の実践をよく知ることが不可欠であり、週報の発行や雑誌講読は大きな意義を持っていると思います。

それらの大きな役割を担う委員会であることを委員全体で認識して活動してまいります。



● クラブ会報・資料保存担当



リーダー
蔦尾健太郎



副リーダー
高橋 心里

【リーダー】 蔦尾健太郎

【副リーダー】 高橋 心里

【委 員】

神辺 眞之 土肥 雪彦 長崎 清正

温泉川梅代 尾木 朗 大濱 紘三

細田 正雄

〈方 針〉

- ・ クラブ会報(週報)を作成し、会員に対して、過去の行事内容および今後の行事予定等をわかりやすく周知する。
- ・ 当クラブの行事内容や諸活動について、クラブ会報等を通じて会員に周知し、クラブの活動についての関心を高めてもらい、会員相互の親睦の増進、ロータリー教育の向上、クラブの活性化を図る。
- ・ 当クラブの事業内容を記録するため、クラブ会報及び関連資料データの整理、管理、保存を行う。

〈計 画〉

1. 「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」というシェカール・メータRI会長の今年度テーマと「もっと行動し・もっと成長する」という当クラブ要田会長の方針を踏まえ、それぞれの意味を深く考え、自分たちなりに理解した上、これらの規範に沿ったクラブ会報の紙面作りを目指す。
2. 例会、各種行事、各同好会などの行事をできる限り把握の上、各活動での写真撮影や撮影データの入手を行い、撮影データを記録する。
3. 卓話者へ事前に原稿を依頼し、卓話の内容を入手し、クラブ週報やHPへ掲載できる体勢を整える。
4. 週報の編集内容を事前に確認し、校正を行う。

〈予 算〉 400,000円

● 雑誌担当



リーダー
井原 倫子



副リーダー
荒木 浩幸

【リーダー】 井原 倫子

【副リーダー】 荒木 浩幸

【委員】

神辺 眞之 土肥 雪彦 長崎 清正

温泉川梅代 尾木 朗 大濱 紘三

細田 正雄

〈方針〉

「ロータリーの友」の購読はロータリアンの義務とされているクラブ定款です。紹介された国内外のロータリークラブ活動やロータリアン自身の活動記事をとおして、常にロータリーの原点に触れていただき、各会員の経営にも役立てるきっかけとしていただきたい。また、当クラブの活動、当クラブ会員の地域社会への貢献を「ロータリーの友」を通じて発信し、当クラブのイメージ向上や発展に努めたい。

〈計画〉

- ・ 第1例会時に「ロータリーの友」を各会員に配布する。
- ・ 各会員より「ロータリーの友」への関心記事や感想を寄稿依頼し、いただいた寄稿文は週報に掲載する。
※寄稿依頼の選出方法としては各会員の誕生日とする。
- ・ 主に広報担当と連携し、当クラブまたはクラブ会員の地域社会への活動紹介文を「ロータリーの友」へ寄稿する。
- ・ 「ロータリーの友」を各種団体に寄贈し、ロータリークラブ(特に当クラブ)の公共イメージの向上に努める。

〈予算〉 50,000円

● 広報担当



リーダー
橋本 浩二



副リーダー
沖宗 正明

【リーダー】 橋本 浩二

【副リーダー】 沖宗 正明

【委 員】

神辺 眞之 土肥 雪彦 長崎 清正

温泉川梅代 尾木 朗 大濱 紘三

細田 正雄

〈方 針〉

要田会長方針は「もっと行動し・もっと成長する」とあります。

中でも新会員の入会を促進してゆきたいともあります。

我々の行動が広く伝わり支持されることが入会を促すことに繋がると思います。今期はIMもあり
東南ロータリークラブとしても発信する情報もあるので広く広報をするようにいたします。

特に若い人向けにSNSも活用するよう検討してゆきます。

〈計 画〉

1. クラブホームページ管理と調整
2. ホームページの記事のSNSの活用、推進
3. 県並びに市の記者クラブへのプレスリリースの積極的な働きかけ

〈予 算〉 400,000円

奉仕プロジェクト委員会



委員長(理事) 古本由美

本年度要田会長の方針である、ロータリーのビジョンに導かれながら大きな夢に向い、各リーダーが工夫して事業計画をたて、それを達成するために「もっと行動し・もっと成長する」に基づいて各リーダーから事業計画を頂きました。コロナの影響で例年通りの活動をするのは難しい状況ですが、WEBを活用すること等の前向きなアイデアで、新たな形の奉仕活動を行っていききたいと思います。こんな状況だからこそ知恵を出し、要田会長の推奨される「超我的奉仕」を身に付けられるように、会員の皆様とともに学ばせていただきたいと思いますので、ご協力よろしくお願ひいたします。三密を避けながら、全員参加で今だからこそその奉仕プロジェクトを楽しんで参りましょう。



● 職業奉仕・経営研究担当



リーダー
見正 伸也



副リーダー
武士末 修

【リーダー】 見正 伸也

【副リーダー】 武士末 修

【委員】

村上 賢一 吉田 信秀 日域 大陸

荒木 浩幸 富部 秀司

〈方針〉

要田会長の方針「もっと行動し、もっと成長する」を推進するために、ロータリアンの原点である職業奉仕の理念の再認識を図り、会員の職業責務遂行の水準向上に寄与する施策並びに本クラブ独自の職業奉仕研究会である経営研究会に於いて、会員企業の健全な経営についての事例研究を実施する。

〈計画〉

1. 会員の職業責務遂行の水準向上

職業奉仕の理念を踏まえ、多様な職業分野における職業奉仕の状況を学び、職場や地域活動など優れた社会貢献の取組みを実施する。

①会員企業または他企業を対象に職場訪問例会を実施

②会員企業または地域社会に貢献された優良従業員表彰を実施。

2. 経営研究会の充実を図り、会員企業の経営に役立つ情報提供を実施する。

①多様な職業分野の経営幹部を招聘し講演会を開催

②経営に関する事例や経営哲学、経験談についての講演会を開催。

〈予算〉 400,000円

● 社会奉仕担当



リーダー
吉田 範子



副リーダー
中畝 将博

【リーダー】 吉田 範子

【副リーダー】 中畝 将博

【委員】

荻田 玲子 中脇 令子 久保 和浩

佐々木 誠 金治 好美

〈方針〉

要田会長の方針「もっと行動し、もっと成長する」のスローガンに基付き、コロナ禍での東南ロータリークラブ独自の社会奉仕活動を模索しながら、以下の事業について計画していきます。

〈計画〉

1. 広島市民病院への寄贈事業（地区補助金事業）

プロジェクト名：広島市民病院へ未熟児新生児医療において患児を安全に搬送するためのアトムベビーストレッチャーを1台寄贈する

ロータリーの「母子の健康を改善するのを支援する」活動に則り平成18年に指定を受けた広島市民病院の総合周産期母子医療センターに聞き込み調査を行ったところ、全身麻酔で手術を行う患児の増加などから、患児を安全に搬送するためのストレッチャーを必要としているが年間予算が少なく、備品申請の優先順位が極めて低い事があげられた為、支援することとした。

（令和元年実績）

・新生児部門の年間新入院患者数：11,244名（延べ数）

・ストレッチャー使用頻度：1日に3～6件

（地区補助金330,000円、クラブ資金173,800円）

・卓話の企画（寄贈後の使用状況やセンターの広報）

2. 柏の実苑クリスマス会への参加

3. 社会福祉団体への支援

・「広島いのちの電話」との連携を模索する

・「子ども虐待ホットライン広島」との連携を模索する

4. 早朝清掃の実施（パールハーバー記念植樹付近）

5. 2022年開催のスペシャルオリンピックスについての卓話計画

〈予算〉 500,000円

● 青少年奉仕担当



リーダー
角田由貴子



副リーダー
上田 康博

【リーダー】 角田由貴子

【副リーダー】 上田 康博

【委 員】

旦 康次郎 久保河内豊 平川 勝洋

吉村 康宏 佐々木 聡 沖宗 正明

〈方 針〉

今年度R1会長のテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」の精神に基づき、「もっと行動し・もっと成長する」という要田会長の方針に向かって会員の皆様と共に様々な奉仕活動を通じ、青少年の健全な成長に貢献して行きたいと思えます。

〈計 画〉

1. 広島商業高等学校インターアクトクラブの活動支援を行う。
 - (1) 青少年育成活動として、高校の協力を得ながら生徒主体の社会奉仕活動の支援を行う。
 - (2) 毎月のインターアクトクラブ例会に出席して有意義なクラブ活動への助言を行い、会員増強の策も話し合う。
 - (3) インターアクトクラブ地区大会、研修会へ参加し研鑽を重ねると共に他校との情報交換に努める。
 - (4) ボランティア活動についての社会的意義と方法論について生徒達と共に考える。
2. 青少年教育に関する事業支援を行う。
3. 子育て世代と子どもとの共有活動を実施する。

〈予 算〉 600,000円

● 国際奉仕・姉妹クラブ担当



リーダー
佐々木 一暢



副リーダー
早田 良二

【リーダー】 佐々木 一暢

【副リーダー】 早田 良二

【委員】

小松原浩平 大井 克元 國司 晃

池田 勝彦

〈方針〉

これまでの国際奉仕・姉妹クラブの活動継続をベースにし、新しい取り組みと意義を取り入れながら事業を推進します。

姉妹クラブとしては、台中ロータリークラブ・パールハーバーロータリークラブとの親睦を図るべく計画し、遂行します。

〈計画〉

- ・ 姉妹クラブであるパールハーバーロータリークラブへ表敬訪問の計画の立案と継続可能な相互事業を検討し実施する。
- ・ 前年度コロナによる訪問が中止となった台中RC訪問も、今年度訪問の(仮)計画する。当クラブのスケジュール特にIMの日程や、今年度もコロナ対応は必至の為、慎重にPHRC、台中RCと予定を調整する必要がある。
- ・ 場合によっては、上記①②が中止の場合の代替案としてWeb会議等を利用し(人数を限定するなど)交流を行うことも準備する。

【時系列での交流履歴】(過去10年間)

2011年2月：PHRC 表敬訪問
2012年4月：PHRC 来広
2013年2月：PHRC 表敬訪問
2014年3月：PHRC 来広
2014年9月：PHRC 表敬訪問
2015年5月：台中RC 創立60周年 表敬訪問
2016年4月：PHRC 来広
2016年9月：PHRC 表敬訪問
2018年4月：PHRC 来広
2019年2月：PHRC 表敬訪問
2020年1月：東南RC 創立60周年 PHRC／台中RC 来広
2020年5月：台中RC 創立65周年 表敬訪問中止

〈予算〉 2,500,000円(台中RC60周年祝金含む)

財団関連活動委員会



委員長(理事) 中村伸弘

ロータリー財団、米山金奨学会ともに寄付の目標を達成に努力する。

ロータリー財団は地区補助金の活用と、必要であれば次年度の地区補助金を申請する。

米山記念奨学会は奨学生とカウンセラーをフォローする。



● ロータリー財団担当



リーダー
今井 廣志



副リーダー
谷井 智

【リーダー】	今井 廣志
【副リーダー】	谷井 智
【委員】	脇舛 賢治 岩井 正喬
	岩垂 鈴香

〈方針〉

ロータリー財団の役割、活動実績等を会員皆様にご理解いただき、年次基金、恒久基金のご協力をお願いする。

財団への寄付推進、各種寄付目標達成の推進を図ります。

〈計画〉

- ・ロータリー財団への寄付推進
- ・ポリオプラス基金 35ドル以上／1人
- ・年次基金 150ドル以上／1人
- ・恒久基金 ベネファクター1名
または1000ドル以上／クラブ
- ・ロータリーカードの理解と普及
- ・地区補助金特別プロジェクトの推進
- ・ポリオ・プラスの達成に向け100万ドルの食事を実施する。
(年8回の予定)
- ・ポールハリスフェロー、マルチプルPHFへの寄付を勧誘し、
年次基金の目標を達成する(7名以上)
- ・ベネファクターの勧誘を行う。(1名以上)
- ・ロータリーカードの普及に向けた呼びかけを行う。
- ・ロータリー財団月間に卓話を実施し、財団について会員
皆様へ情報を提供する。
- ・ロータリー財団地区補助金の活用

広島市立広島市民病院未熟児新生児医療において、患児を安全に搬送するためのストレッチャー(安全性に優れたガード付きストレッチャー)寄贈プロジェクトに関し、地区補助金を支援する。

〈予算〉 100,000円

● 米山記念奨学会担当



リーダー
高島 哲也



副リーダー
佐々木 聡

【リーダー】	高島 哲也
【副リーダー】	佐々木 聡
【委員】	廣谷 洲枝 君島 龍輝 衣笠 准一

〈方針〉

会長方針のロータリービジョンに導かれながら大きな夢に向かえるようリーダーが工夫して事業計画を立てていきます。それを達成するために「もっと行動し・もっと成長する」に従い、広島東南ロータリークラブで受け継がれてきた米山記念奨学会事業をロータリー精神と共に学びながら、留学生との積極的な交流を図り、留学生の本国と日本との国際交流と相互理解を深め平和に寄与することを目指し、本奨学会への寄付活動と活動協力支援を促進します。

〈計画〉

1. 米山記念奨学会事業への理解と啓蒙活動を推進する。
2. 米山奨学会への寄付を依頼する。
 - ・ 寄付活動は、普通寄付金に加えて特別寄付協力についても呼び掛けていく。
 - ・ 寄付目標：1人16,000円以上
3. 奨学生への受け入れとカウンセラーの支援を行う。
4. 奨学生、学友との交流を積極的に図る。

〈予算〉 50,000円

S. A. A.



S. A. A (理事) 吉岡民登

例会がスムーズに進行するような会場監督に努力し、最善の例会管理を行って参る所存です。今年度も先が見通せない状況にあり、引き続きコロナ感染対策を考えながらの例会開催が必須です。

創意工夫を図りながらの例会運営となりますが、会員皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



● S.A.A. 支援担当



リーダー
高西 哲郎



副リーダー
鹿瀬 賢二

【リーダー】	高西 哲郎
【副リーダー】	鹿瀬 賢二
【委員】	天野 國幹 狩野 義仁
	田上 克彦

〈方針〉

クラブ細則第3条7節に則り理事会の定めるところにより主に例会場の管理を遂行します、会長方針による“もっと行動し・もっと成長する”に沿ってスムーズな例会管理を行います。

昨年に続き新型コロナ感染予防対策が求められることが予測されます、状況に応じて適切な会場設営に努めます。

〈計画〉

理事会により定められた、クラブ細則第3条第7節にある任務を基本に以下の項目を実施します。

- ・ コロナ感染予防を最優先に考えた例会場の設営。
- ・ 食事の献立、提供方法につき業者との交渉。
- ・ 例会場の温度管理、夏季クールビズの推奨。
- ・ 例会場内でのマナーに対する指摘と秩序管理。
- ・ ニコニコ箱の管理と積極的な出宝への工夫、状況の報告。

〈予算〉 10,000円

会 計

会計(理事) 神 田 敏 治



〈方 針〉

会長方針に従い、各部門の委員会活動が健全に運営されるよう予算編成を行う。

〈計 画〉

1. クラブの資金管理を正確に実行する。
2. クラブの収支及び財政状態を明確にするため、中間決算、見込み決算の報告書を作成する。
3. 年度内に予定外活動が発生した場合、弾力的支出を配慮する。